

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成29年度第6回 理事会 議事録

【開催日時】平成29年10月26日（木曜日）12:20～14:10

【開催場所】沖縄コンベンションセンター 劇場棟1階 「大楽屋2」

【出席した理事】田口 敏彦、徳橋 泰明、大川 淳、川上 守、島田 洋一、岩崎 幹季、竹下 克志、種市 洋、永島 英樹、中村 雅也、波呂 浩孝、山下 敏彦

【出席した監事】加藤 文彦、松永 俊二

【欠席した理事】中村 博亮、根尾 昌志、前田 健、山崎 正志

【議事の経過の要領及びその結果】

審議・決議事項

1. 7～9月の入退会

島田理事が、7～9月の入退会希望者の審査結果を示し、決議を求めた。一同検討の結果、全員を承認した。

2. 英文誌編集委員会より：SSRRのEditor in chief 交替について

川上理事が、SSRR誌のEditor in chiefの高橋和久先生が、日整会誌の『JOS』の同職に就任するため、委員会内で検討し千葉一裕委員に交代することになったとしてその承認を求めた。一同検討の結果、承認した。

3. WEB 会員システム契約書の件

大川理事が、2018年2月より運用開始となるWeb 会員システムおよび会費のカード決済導入についての「会員情報サービス利用規約」ならびに「会員情報システム利用許諾契約書」を提示した。一同検討の結果、承認した。

4. データベース委員会より

データベース運用のための管理規定について

種市理事が、データベース委員会にて作成した「データベースに関するデータ管理および利用規定(案)」、「データベースのデータ利用と二次研究に関する細則」、「データベースのデータ利用と二次研究する遵守事項」を提示し内容を説明した。一同検討の結果、倫理委員会審査後に最終承認とすることとした。

議事の ～ については報告事項として記載

5. 倫理委員会より：

JSSR 学術集会における研究倫理に関する講演について

永島理事が、日本医学会連合から提言された「わが国の医学研究者倫理に関する現状分析と信頼回復へ向けて」の資料を示し、研究倫理に関する基本事項と対処法について会員の学修が義務づけられていることから、JSSR 学術集会において、研究倫理についての講演を実施するとして審

議に諮った。一同検討の結果承認した。

JSSRにおける発表の倫理的配慮の確認について

永島理事が、JSSR 学術集会の演題発表において COI の開示のみではなく、倫理的配慮の項目が必要と提案した。一同検討の結果、2019 年の学術集会から導入することを決定した。

脊椎脊髄外科専門医試験に医療倫理・研究倫理に関する問題の追加について

永島理事が、脊椎脊髄外科専門医試験に、医療倫理・研究倫理に関する問題追加を念頭に、問題集の改定作業に合わせて、倫理委員会が問題を作成すると提案した。一同検討の結果、承認した。

6. 国際委員会より：Spine Week 2020 への対応

中村雅也理事が、シンポジウム 1 つを開催する意向であるが、経費等を鑑みて最終決定としたいとし、一同賛同した。

7. その他

- ・大正富山 AWARD 選考委員の件

田口理事長が、今年度の大正富山 AWARD 選考委員候補を提示した。一同検討の結果承認した。

- ・日整会・安全医療推進委員会への役員名簿提出について

日整会に前回 JSSR から推薦した評議員（会員）を問い合わせた上で、対応することになった。

審議・報告事項

1. 庶務報告：

(1) 誤送金の件

大川理事が、先月末に学会の口座から、事務局委託会社である毎日学術フォーラムに計算ミスによる誤送金が発生したが、数日後に返金されたことを確認したと報告がなされた。

(2) 理事立候補の件

大川理事が、立候補希望者は早めに書類希望を事務局に届け出る必要があると説明した。

(3) 学術集会運営事務局への役員名簿データ配布の件

大川理事が、次期 JSSR 学術集会運営事務局より学術集会の運営のために役員や評議員の名簿データの譲渡希望があったとして審議に諮った。一同検討の結果、JSSR 学術集会会長の責任のもとにデータ破棄までを行うのであれば名簿の提供も可能と結論付けた。

(4) 評議員審査の件

大川理事が、近日開始する評議員の審査について説明した。更新と新規のそれぞれの件数と、審査方法を説明の上、特に新規評議員候補者の審査すべき点について一同議論した。年齢、業績、所属施設の評議員数、推薦評議員などについて意見がでた。これらを念頭に、選考を開始することになった。

2. 新技術評価検証委員会より：

(1) 新技術ガイドラインの周知方法について

(ア) 頸椎人工椎間板 (イ) ACR および胸椎 XLIF

岩崎理事が、以上(ア)・(イ)のガイドライン(すでに承認済み)はホームページと学会誌『JSR』に掲載したいと発議した。一同審議の結果承認した。

(2) 新技術研修における受講証明書

(ア) 最終案と学会後援

岩崎理事が、XLIF トレーニングの受講証明書の最終案を提示した。「XLIF ACR/XLIF Thoracic 実施施設基準・実施医基準確認書」の説明がなされた。頸椎人工椎間板も今後同様の形式で受講証明書が作成される旨説明し、一同検討の結果承認した。

(イ) 企業が共催していない場合

岩崎理事が、国内 Cadaver コースは企業の後援などによる費用負担が認められていないとし、そのような場合は大学が主催で学会が後援となるとの説明がなされた。

(3) LIF 合併症の継続調査：各施設長・会員への送付書類一式の件

岩崎理事が、昨年も実施した LIF の合併症調査について、倫理委員会にて異議がなければ、調査を開始することになった。

(4) ストライカー社の XLIF 後発品の本邦での販売中止（報告）

岩崎理事が、ストライカー社の XLIF 後発品は、日本で発売中止になったと報告した。

3. 教育研修委員会より：第 15 回教育研修コース報告/第 16 回コースの件

竹下理事が、第 46 回学術集会での第 15 回教育研修コースの内容と収支ならびに次回第 16 回のコースについての内容と予算を説明した。

4. 倫理委員会より：倫理審査の報告

(1) XLIF ACR 手術及び XLIF THORACIC 手術のデータベース構築に関する研究（データベース委員会）

永島理事が、データベース委員会から依頼のあった倫理審査を行い承認したと報告した。

(2) 脊椎脊髄手術における術中術後合併症のデータベース構築に関する研究（安全医療推進委員会）

永島理事が、安全医療推進委員会から依頼のあった倫理審査を行い、審査結果について現在安全医療推進委員会内で検討中と報告した。

(3) 日本脊椎脊髄病学会が関与する研究について

永島理事が、JSSR は研究を行うための研究員の雇用をしていないため研究機関とみなされない（宗像顧問弁護士の見解）ことから、今後の JSSR での研究に当たっての注意点を説明した。

(4) 宗像弁護士による説明会（JSSR 理事会；2018-1-19）

永島理事が、学会内で倫理指針改正による留意点を共有するため、次回の理事会で宗像弁護士によるレクチャーを予定していると報告した。

5. 英文誌編集委員会より：問題のある SSRR reviewer について

川上理事が、JSSR 評議員全員の責務である SSRR の査読の依頼を何度も拒否したり、査読不能に設定したりしている評議員がいるとして報告した。該当する評議員に対し、それぞれの上司から注意を促すことになった。

6. 脊椎脊髄外科専門医試験について

波呂理事が、第 1 回～ 3 回の脊椎脊髄外科専門医試験の日程・会場・受験者数を報告した。申し込み後に受験料の支払いをせずキャンセルした申請者がいるとして実名を報告した。入金の時

期について波呂理事が次回の JSSR・NSJ 合同のワーキンググループで検討すると回答した。

7. 国際委員会より：

中村雅也理事が下記の案件について報告した。

(1) NASS への演者派遣について

NASS への演者として中村博亮理事と東海大の酒井大輔先生を選定した。

(2) Spine World Summit 2018 (2018/1/25-26in Hong-Kong) への対応

Spine World Summit 2018 に田口理事長、国際委員会の松山委員長、担当理事の中村雅也理事が出席する。

(3) 2018 年台湾からのフェロー受け入れ

慶應大と獨協大にて、2018 年の台湾からのフェローを受け入れる。

(4) 2018 日整会総会における「各専門学会における国際交流に関するシンポジウム」のシンポジストについて

2018 年日整会総会の国際交流関係のシンポジストとして国際委員会の松山委員長を推薦した。

(5) Spine Across the Sea 2018 について

Spine Across the Sea 2018 のシンポジウムの内容を説明した。来年度担当の波呂理事が、JSSR 会員の参加費は NASS 会員と同額とすることが確定していると報告した。

8. その他

・E メール理事会回答まとめ資料(前回理事会以降)

前回理事会以降の E メール上の理事会の議題と審議結果を確認した。

(審議・決議事項から)

・データベース委員会より

ACR・胸椎 XLIF レジストリー

種市理事が、ACR・胸椎 XLIF レジストリーについて報告した。一同、審議し、了承した。

頸椎人工椎間板レジストリー

現在、メドトロニックソファモアダネック社のシステムで症例収集中であるが、2年目の登録は JSSR と脳神経外科学会(NSJ)で組織するワーキンググループで調査予定であると報告した。

一同、審議し、了承した。

安全医療推進委員会主導 合併症調査

種市理事が、安全医療推進委員会主導の合併症調査について、当学会の倫理委員会での審査を受け、内容を継続審議中であると報告した。調査開始は2018年6月を予定していると説明した。

一同、審議し、了承した。

以上

平成 29 年 10 月 26 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 田口敏彦

監 事 加藤文彦

監 事 松永俊二